

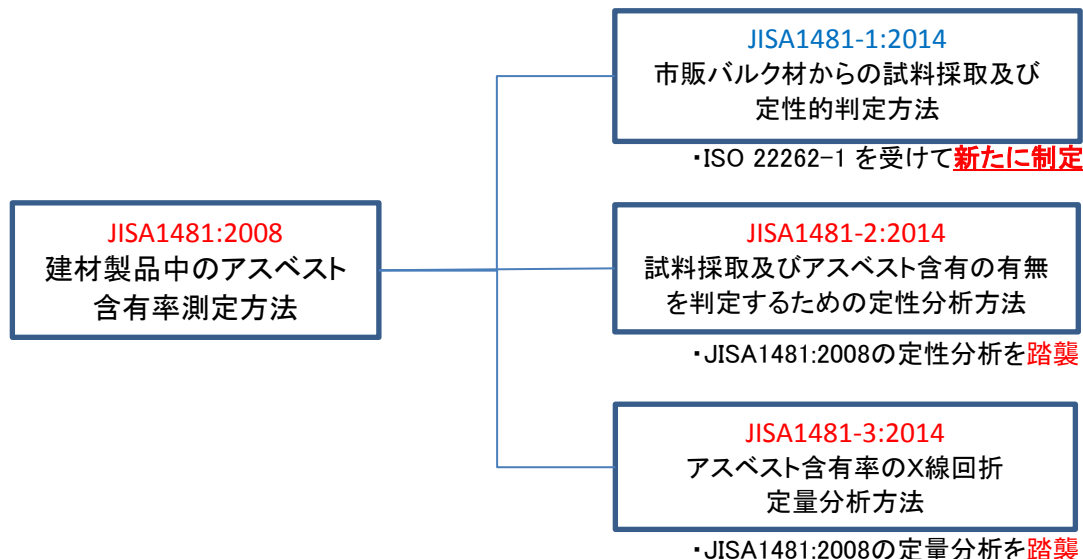
JISA1481の廃止にともないJISA1481-1～JISA1481-3が制定

○JISA1481企画体系の変更

平成26年4月1日よりJISA1481が廃止になりJISA1481-1～-3が制定となりました。国際基準ISOを踏襲したJISA1481-1、JISA1481の定性法を踏襲したJISA1481-2、JISA1481の定量法を踏襲したJISA1481-3の三部構成になりました。

日吉ではJISA1481-2:JISA1481-3を用いた位相差分散染色顕微鏡及びX線回折装置を用いた定性・定量分析を行っています。

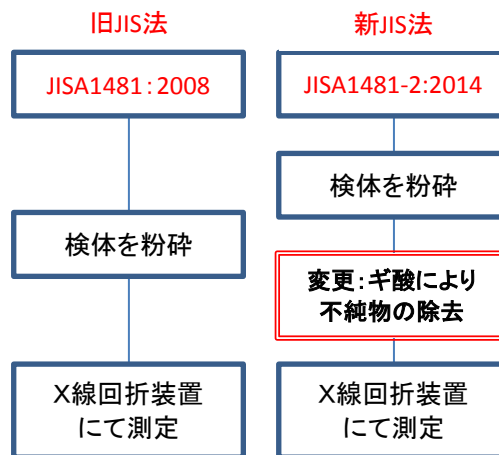
天然鉱物の分析は基安化発0331第2号(平成26年3月31日)より分析を行っています。



○アスベスト含有分析法及び変更点

■JISA1481-2:定性分析法

JISA1481-2:2014定性分析において試料測定前のギ酸処理が必要になりました。ギ酸処理をすることにより不純物質が取り除かれ感度良く測定することができます。



■その他の変更点

JISNo	変更点	旧JIS	新JIS
JISA1481-2	分散染色	分散染色の分散色はトレモライト、アンソフィライト同じであった。	分散染色の分散色がトレモライト、アンソフィライトそれぞれ分けられた。
JISA1481-3	ギ酸処理	恒温層内における攪拌作業は30℃±1℃30秒攪拌1分30秒静置を6回繰り返す。	恒温層内における攪拌作業が30℃ ±1℃12分間連続攪拌になった。